

拡大月間・共済推進 6000人の仲間づくりを！

**“この共済増やしたいので勧めます”
秋（10月～12月）の助成金を活用して仲間を増やそう！**

日本医労連共済事業局が開催した、2019年共済推進会全国交流集会には、415人（9・10月）が参加し、実務研修や共済推進の経験交流を行いました。

基調報告では、制度見直しの検討状況、本部OB制度の変更、事業状況、加入推進の重点課題の報告が行われました。

加入推進の重点は、①全国組合・県医労連での共済推進会議の推進と役員自らの加入、②新人の共済加入推進、③組織一律共済の推進、④継続時の型上げと火災共済の加推進の4点です。

～秋の拡大キャンペーン～

現在、医労連共済では、秋の拡大キャンペーンを開催中です。助成金を積極的に活用し、仲間を増やしましょう。



《先ず最初に行うのは？》

拡大キャンペーンで大切なのは「共済説明会」ですが、「共済のことがよくわからない」という方もご安心ください。医労連共済のDVDがありますので、執行委員同士での学習にもご活用ください。次に、執行委員会で説明会の開催日時・会場を決めて、宣伝しましょう。

《助成金を活用しよう・参加者1人500円》

医労連の組織拡大月間に合わせて秋は10～12月に、説明会に対する助成を行っています。助成金を、参加者のお弁当や軽食費等に充て多くの方に参加してもらいましょう。

説明会の準備支援として、説明会の講師には2,000円分のクオカードを贈呈します。

☆加入者も組合もお得☆

説明会で加入した組合員には、セット共済・火災共済が条件ですが、本人に1,000円分の記念品を贈呈します。また、複数の新規加入（セット共済・火災共済）があれば、開催組合へ1万円分のクオカードを進呈します。※複数加入での助成は、秋・春の月間以外の月でも対象です。

《組織一律の討議に助成》

組織一律型は、組合員全員で加入する助け合いの取り組みです。例）「医療」で組織一律型を始めることで組合員の病気・ケガにこれまで以上に気を配ることができ、医労連共済を知らせることができます。組合員とっても給付は喜ばれます。組合でも是非組織一律型加入について討議を進めましょう。☆内容：執行部討議。年1回。☆助成：出席役員1人500円。

～共済の取り組みやニュースをお寄せください～